



第44号

発行所
〒799-1101 愛媛県西条市
小松町新屋敷乙42-1
小松高等学校
養正
印刷 株式会社サラト

ご挨拶



会員の皆様には、日頃より養正会の活動にご理解・ご協力を頂き誠に有難うございます。

このコロナ禍で日常生活の行動自粛が求められている中、皆様には心身共に元気で過ごして頂きたいと思っております。さて、本年は百三十一名の新入会員を迎えてスタートをしましたが、昨年に引き続きコロナの感染拡大を受けて、県を跨ぐ移動の自粛と、沢山が集まる会も自粛する事になり、総会は二年連続で中止とさせて頂きました。その他養正会のすべての活動が中止となり、各支部の総会等の活動も中止となりました。本来なら、本部より各支部にお邪魔させて頂き、皆様の養正会に対するご意見やご要

養正会会長 工藤 憲治

望をお聞かせ頂きたいと思っております。また、皆様より多くの協賛を頂き、誠に有難うございました。会を代表して心よりお礼申し上げます。引き続きのご協力をお願い申し上げます。

来年の小松高校は創立百五十年を迎えます。その年に合わせて五年に一度の

学校の宝



養正会の皆様には、日頃から多大な御支援と御協力をいただき、心から感謝申し上げます。

今年度も新型コロナウイルス感染症の厳しい状況が続く中、養正会本部総会をはじめとして、松山、関西、関東各支部総会の開催が中止となりました。直接お会いすることは叶いませんでしたが、折々に皆様の温かさや母校に対する熱い思いを感じており、特に七月の感染拡大に際しては、温かい激励の言葉を多数いただき、誠にありがとうございました。

校長 松浦 ヨリ子

域と協働して課題解決を図る探究的な学びを通して、地域に貢献する人材の育成を目指しています。コロナ禍で需要が減った県産マダイを使って考案した給食で子供たちと交流したり、椿デザインを提供して就労施設の利用者と製品化した活動は、単に地域課題の解決を図るだけでなく、様々な人との新たなつながりが生まれ、生徒たちが生き生きと共生のまちづくりに貢献しています。

事業として養正会名簿を発行する運びとなりました。名簿の存在意義が問われる昨今ですが、定期的な名簿制作事業は養正会存続の為に必要不可欠である旨、ご理解を頂きご協力をお願い申し上げます。

小松高校に於いては、松浦ヨリ子校長先生が赴任されましたが、コロナ感染拡大で愛媛県でも一年を通して大変な状況が繰り返されましたが、入学式は保護者の人数制限で行われ、体育大会・小松高祭は教職員と生徒だけで実施されました。また、各部の活動や対外試合が制限をされ、生徒達が楽しい学校生活を送る事が出来なかった事を残念に思っています。来年は良い環境になって来ると思っていますので、全校で力を合わせ頑張ってください。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈りするとともに、小松高校の益々の発展をお祈りいたしましてご挨拶とさせて頂きます。

今後とも養正会をよろしくお願い申し上げます。

ました。夏、一か月近く部活動ができないう状況でしたが、遅れを取り戻すべく熱心に活動し、新大会東予予選ではソフトテニス部準優勝、テニス部男子三位と活躍しています。文化部では、感染拡大防止の観点から、日本音楽部と吟詠剣詩舞の二人が全国総合文化祭出場を辞退、吹奏楽部もコンクール等への出場を辞退しました。積み重ねた努力は尊いものであり、辞退は非常に辛いことでしたが、生徒たちは前を向いて練習に励み、日本音楽部が西条市文化協会芸術文化奨励賞を、吹奏楽部が県高文化祭で特別賞を受賞したほか、吟詠剣詩舞でも二人が来年度の全国大会出場権を得ました。文化部各部の活動も充実しています。

進路指導では、キャリア形成の観点から指導の充実を図りました。十二月現在、国立公立大学合格四名をはじめ進学・就職とも三年生一三二名の進路が決定しつつあります。

学校にとっての宝は、元気が挨拶を交わす生徒たちの笑顔です。取り組むべき課題はありますが、この宝が一層輝きを増すよう、コロナ禍による様々な制約に足をとめることなく、よりよい教育を推進してまいりたい所存ですので、変わらぬお力添えをいただきますよう、よろしくお願いたします。

小松高校での出会いに感謝

養正会副会長 日野 貴博



養正会会員の皆様におかれましては、日頃より養正会に対しご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、令和3年度の養正会の活動も新型コロナウイルスの影響により、2年度と同様に活動の中止を余儀なくされ、本部総会や支部総会も2年連続して開催する事ができませんでした。今となつては2年前に皆様と楽しく過ごせた時間が懐かしく思い出されます。令和4年度こそは皆様にお会いできる事を切に願っております。

私の高校生時代を思い返すと、当時はあまり意識しなかったのですが、私の3年生の時が70周年でした。家政科の校舎が養正が丘に落成し、みんなで引越し作業を行った事を覚えています。私の所属していたサッカー部も第3グラウンドから、拡張された第2グラウンドへ練習拠点が移動となりました。そこで行われた丹原高校と西条農業高校との記念招待試合は、今でもいい思い出です。

元々私は高校に入学してサッカー

を続ける気持ちは無かったのですが、サッカー部顧問の安永健二先生の強い勧めにより半ば強制的に入部する事になりました。しかしこの入部により、サッカーの楽しさや素晴らしい先生に教えていただき、その後大学生、社会人になつてもサッカーを続け、今でも愛媛県シニアリーグでプレーさせてもらっています。小松高校での出会いがあったお蔭で、私にとつてサッカーは人生で無くてはならないものとなりました。

卒業後も私をずっと見守っていただいていた安永先生は、昨年8月に逝去されました。今でもご自宅へ伺えばお会いできるようで、その事実をなかなか受け入れる事ができていません。

写真は昨年6月、私の試合に息子夫婦が応援に駆けつけてくれた時のものです。息子も小松高校サッカー部でお世話になり、大学までサッカーを続ける事ができました。これも息子に力を与えていただいた真鍋先生、吉川先生そしてチームメイトの皆さんに感謝です。

私の人生をポジティブな方向に導いてもらった小松高校に、少しでもご恩返しできればと思います。微力ですが、自分なりにできる事を少しずつ積み上げていこうと思っています。

養正会会員の皆様、これからも小松高校、養正会をよろしく願います。

松山支部

『憧れのマドンナ』との再会

『長い時を経て』



松山支部長 中原 由美子

新型コロナウイルスの影響により松山支部総会は2年続けての開催中止となりました。

そこで今回は方向を変え、支部役員を紹介させていただきたいと思

います。

松山支部は、支部長、事務局長他総勢12名の役員で構成されています。主要な活動は毎年開催される支部総会の準備、当日の進行などです。

『出来る事を、出来る時に、出来るだけ！』をモットーに、個々が可能な範囲で役員としての活動を行っております。

養正会松山支部役員名簿			
役職	卒年	回数	氏名
支部長	昭50年	家政17	中原由美子
副支部長	昭61年	普37	近藤日砂人
会計監査	昭31年	普7	塩出 栄
理事	昭38年	普14	玉井 靖彦
理事	昭40年	普16	桧垣 守利
理事	昭40年	普16	矢野信太郎
理事	昭40年	普16	渡部 良博
理事	昭42年	普18	村上 哲邦
理事	昭50年	普26	信崎智恵美
理事	昭50年	普26	豊島 晋一
理事	昭51年	普27	伊藤 敏彦
理事	昭52年	普28	森 浩一
事務局長(会計)	昭40年	普16	白石真由美

ではここで、ある役員(男性)の文章を紹介したいと思います。

『私は小松高校を卒業後、いわゆる転勤族として全国各地を渡り歩きました。その間母校の事を考えた事はなかったように思います。60歳で定年になり、松山へ帰った時同級生から誘われ養正会総会に初めて出席し、その縁で役員にもなりました。役員として試用錯誤の末10年が過ぎましたが、今は年代も違う役員達と花見に行ったり、親睦会(飲み会)をしたりして皆で和気あいあいと楽しくやっています。

高校時代はクラスのごく少数の友人と付き合っていただけで、他のクラスやましては女性とは付き合った記憶はありません。しかし今は、当時クラスのマドンナと言われた女性や、初恋の人(片思いですけど)など、当時では考えられなかった方々とお付き合いをするようになりました。同窓会へ出席していなければ再会する事もまずなかったように思います。長い時を経て、時代が変わったとは言え不思議な感じがします。』

同窓会は当時に戻れる貴重な機会であり、過去の想いやつながりを再認識する場でもあります。時には初恋の人に想いを馳せてみませんか？ また新たな出会いや行ってみなければ見えない景色もきっとあるはずですよ。

令和4年度の松山支部総会を例年の7月に予定しております。養正会の灯火を消さぬよう一日も早い新型コロナウイルスの収束を祈るばかりです。

株式会社 むらかみ

愛媛県西条市三津屋南15番5
昭和40年卒業 村上 省三

アールスタジオ
PHOTOGRAPH

西条市三津屋南4-42番地
昭和45年卒業 一色龍太郎

石鎚神社

愛媛県西条市西田甲797
昭和55年卒業 武智 正人



皆さんの参加待ってますよ～



道後温泉でfight!



養正会関西支部運営メンバー 2019年度より		
役 職	氏 名	卒 年
支 部 長	奥元 唯照	S38
副支部長	支部長代行 藤木 はるみ	S42
副支部長	事務局 長 相原 俊朗	S41
副支部長	事務局 補佐 竹内 佳代子	S41
副支部長	会 計 大野 金子	S36
副支部長	首藤 勉	S43
副支部長	佐伯 義彦	S40
幹 事	青野 義夫	S34
幹 事	瓜生 満津江	S34
幹 事	久保 恵美子	S40
幹 事	黒川 正治	S41
幹 事	宮川 耕二	S43
幹 事	越智 計二	S44
幹 事	中路 敏夫	S43
幹 事	大濱 博雅	S46
幹 事	近藤 敦	S46
幹 事	仁尾 佳余子	S46
幹 事	戸川 明子	H元
相 談 役	安本 益邦	S33
相 談 役	会 計 補 佐 黒光 輝政	S33

新型コロナウイルスが発生して2年余り、一時期コロナが下火になり、このまま収まってくれるのではとの思いも束の間、オミクロン株の感染拡大に早期収束を願うばかりです。

小松高校日本音楽部が令和3年度第45回全国高等学校総合文化祭に愛媛県代表として出場予定でしたが、感染症対策のため出場辞退との事、勇気のある良い決断だと思います。

松浦ヨリ子校長にお送り頂いた出演予定日前日の演奏DVDを関西支部役員



関西支部長 奥元 唯照

関西支部 今年こそは

部役員の皆さんにも聞いてもらいました。大変好評で、伸びと張りのある音、ゆるぎないテンポ、素晴らしい演奏でした。本年も頑張ってください。

今年こそは、養正会関西支部同窓会が開催出来る事を願って役員一同準備に入っております。

また、養正会に関し何よりも嬉しい事は昨年より養正会本部が全国の養正会員に「養正会報」を発送して下さる事です。これにより、本部の顔が一段と前に出て、小松高校―養正会―養正会支部のつながりが明確になったと思います。

関西支部同窓会も小松高校応援を主目的として発展出来ればと考えます。その為には今まで以上に皆様方多数の参加が必要です。まだ参加をされた事のない方は是非一度参加してみてください。知った人が居なくても大丈夫。出身中学校が同じ者どうしで一つのテーブルを囲み、顔を知らなくても話

が通じるのではないかと思

います。(前回好評)

今年卒業されて、関西圏に就職、進学して住所の決まった方は、ぜひ事務局まで一報下さい。同窓会案内状をお送りします。

令和四年度 養正会総会
関西支部総会
日時 令和四年八月六日(土)
開会 午後十二時～十五時迄
受付 午前十一時半より
会場 ホテルグランヴィア大阪(梅田二十階名庭)



続々と会場に集う同窓生たち

学生、若い方も参加し易い方法を役員一同考えたいと思います。

令和4年度関西支部同窓会は8月6日(土)グランヴィア大阪(梅田)で開催を予定しております。

皆様の参加をお待ちしております。

■お問い合わせ
養正会関西支部事務局
兵庫県西宮市泉町
1-108-807
事務局長 相原俊朗
TEL 090-5919-1058

OA情報機器・オフィス家具・文具・事務用品

植木事務器 新居浜店

〒792-0023 新居浜市繁本町9番51号
TEL (0897) 32-4729番
33-3929番
FAX (0897) 33-3929番

昭和44年卒業 植木 淳二

エディオン小松店 **EDION**

有限会社 **岡本**

〒799-1101 西条市小松町新屋敷甲2057-1
TEL:0898-72-6215 FAX:0898-72-6216

昭和53年卒業 岡本 哲典

森本電機

愛媛県西条市東町295番地

平成元年卒業 森本 史朗

関東支部

「深さ」と「強さ」



関東支部長 矢野 光治



コロナ禍によって、この二年間本会の活動も停止の状態です。昨年と同様に会場の事前確保も... 疫病に対して学祖近藤篤山翁がどのような詩文を残されているか調べてみたが、学祖在世中には大規模な疫病は流行していない。ご自身の病気を詠んだ詩に次のようなものがある。学祖は独特の病氣解消方法をお持ちのようであった。以下に大意を示しておく。



病の床に就いた。初めは暑苦しくて仕方なかったが、古今の詩集を読んでうちに不思議と心が落ち着いてきた。心の中に涼風が吹いてきたり、ハスの露玉が葉の上を転がっていったり、遠くの山水が浮かんできたり、さらには数千年の時を超えて先人の心に結ばれたりしたからである。詩集を読んでさえいれば、もう舟や車も要らない。

色についての面白い実験調査がある。明るい系(ピンクやブルー)・肌色系のマスクは、元々の面立ちに関係なく魅力が上がったというアンケート結果が出た。これは血色のよさを連想させ見た目の効果を上げることにつながるらしい。

コミュニケーションも

対面式のほかにビデオ通話やオンライン交流など方法・手段が大きく変わってきている。ウイズコロナ後の展開は予測し難いが、対面方式の場合、平時になっても引き続きマスクを着用する人は多いと想定できる。いつしか「匿名」ならぬ「匿名」という語が定着するかもしれない。

閉休体題。今年も若くて新しい養正会員を迎えます。さまざまな情報

が満ち溢れ、さまざま価値観が渦巻いているのが今の時代です。この不確かで不確実な未来を生きていくためには、

「自分を持つ」「自己を確立する」ことが何より大切です。世の中の尺度や誰かの評価だけを気にしながら生きていくのではなく、

Table with 2 columns: 卒業年度 (Graduation Year) and 氏名 (Name). Lists members from 1956 to 2022.

*この役員名簿は平成31年3月発行。それ以降はコロナ禍で役員会を開催していない。

*現在、支部長は矢野光治、事務局長は佐伯正孝、その他は一律「役員」である。



どこまでも自分で考える「深さ」が重要です。そして考えたことを形にできる「強さ」を身につけてください。二〇二二年度関東支部の総会は、以前と同じ八月末に帝国ホテルにおいて開催の予定です。昨今「懸念される変異型」に指定された「オミكرون型」の感染急拡大が強く懸念されています。何かと不確定要素が多いのですが、開催可能の際には、是非、関東の総会へご参集いただきませうようお願いいたします。対面で大いに親睦を深めましょう。

石鎚山 真言宗 総本山 極楽寺 昭和44年卒業 神野 顕彰

工藤石油株式会社 西条市大町1215-1 〒793-0030 昭和44年卒業 工藤 憲治

小松高校44会 昭和44年卒業 有志会

学 校 行 事



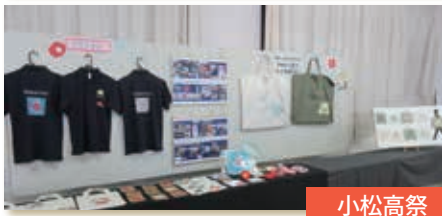
入学式



体育大会



小松高祭



四月八日入学式、新入生一〇名を迎え入れ、全校生徒三七八名、教職員四七名、総勢四二五名で令和三年度がスタートしました。重点努力目標に「学びをつなぐ思考力、問題発見・解決能力の育成」を継承し、地域と共に歩む」を掲げ、行事変更や活動制限など感染対策を講じた生活が続いていますが、学び舎は光に溢れています。

四月には、全員に一人一台の端末が配布されました。端末を通信回線で結び、学習記録をクラウドに蓄積し、個別最適化された学びを進めるCICAスクール構想がスタートしました。授業や家庭学習における有効な活用方法を研究し、生徒の主体的な

学びの実現につなげていきたいと考えています。

今年度の生徒会のスローガンは、「Let's smile ―笑顔で繋ぐ小松の伝統―」です。生徒たちは日々、笑顔を絶やさず、有意義な高校生活を送ろうと学習に部活動に励んでいます。東予・県総体ではその成果を存分に発揮してくれました。体育大会、小松高祭は、生徒・教職員のみで実施となりましたが、種目・内容等を精選し、生徒が提案した有志団体がダンスを発表するなど中身の濃いものとなりました。

竹林整備は、竹林をよくする会の皆様の御指導の下、約七〇名の方に御参加いただき、忙しい作業の中、PTA会員の親睦を深めるよい機会となりました。

令和元年度からライブデザイン科

が中心となつて取り組んでいる文部科学省指定の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」は、完成年度を迎え、「生活文化の伝承と多世代交流、―共生のまちづくりに貢献する人材の育成―」をテーマに、地域の方々の御協力のもと、地域課題の解決に向けた探究的な学びを深め、リモート形式による埼玉大会で全国に発信できました。

生徒たちは夢と目標を持って、この養正が丘で、学びを通してたくましく成長し、それぞれの方向で進路を実現しています。今後、養正会の皆様と連携を密にし、連絡を取り合つて定期的な情報交換を行い、互いに励まし合つて問題解決に向けての取り組みが行えるネットワークの構築を期待しています。よろしくお願いたします。

有限会社 太陽

浄化槽保守点検業 愛媛県知事(登-24)第305号
〒793-0035 愛媛県西条市福武甲2129番地1
代表取締役 平成2年卒業 工藤 剛



たかはし歯科 799-1371 愛媛県西条市周布822-2
TEL 0898-68-0222
昭和54年卒業 高橋 圭三

株式会社 丹下興産

昭和39年卒業 丹下 輝子
昭和45年卒業 眞田 浩州

株式会社 ミツワ電気商会

MITSUWA O A 情報機器事業部
〒791-0506 愛媛県西条市丹原町徳能甲75番地7
TEL 0898-68-7131 FAX 0898-68-0705
http://www.mitsuwa-ele.co.jp
普27回卒業 渡部 英志

愛媛県知事免許(12)第1944号

株式会社 東予住建

お部屋さがし・住まいの売却・購入は
営業時間 9:00 ~ 18:00
電話 0898-64-1123
昭和61年卒業 芥川 雅旨



東洋管工株式会社

〒799-1354 愛媛県西条市北条1009番地
TEL 0898-64-1010
給排水設備・空調設備
昭和54年卒業 藤岡 直哉

響け、箏の音

日本音楽部の歩み

〈指導〉講師 嶋崎 祥子(普15回卒)

本校の和室から箏の音が流れ始めて、36年目の今夏。県高文祭での代表権(9回目)を獲得し、和歌山全国大会へ向けて、曲の決定、日々の詳細な練習、「努力・集中・和・感謝」をモットーに曲作りに励み、完成間近となったある日。『青天のへきれき』コロナ禍による突然の辞退となり、部員はもちろん、関わって下さった応援の方々も大変心を痛める次第となりました。しかし、どこかで発表の機会をと試行錯誤しつつ、町の文化祭と県高文祭での発表が叶い、努力して作り上げた名曲「さらし風手事」をおかげさまでご披露することができたのです。諸事



第45回全国和歌山大会出場記念

情により、本番は残念ながら、西原百香(部長)と真木杏美華(1年)の2名でしたが、本当に素晴らしい力奏で大きな拍手を頂き、「若人の力限りなし」と誇りに思います。皆様の応援に心より感謝し、ご報告と致します。顧みますと、この部に関わったのは、県高文連が創設される折の本校校長(秋葉吉輝氏)から「日本音楽」を立ち上げたのというお話で、初めはクラブとして、授業として始めたのでした。希望者40人ほどの中、お箏がなく、私が持参した一面で説明したことを思い出します。しかも、母校の職員としての

仕事と、お箏の顧問と指導の両立は？とか、楽器の調達が大きな問題！地元の菊藤栄秀先生が快く数面、短箏を貸して下さい、80周年記念には同窓生が寄贈して下さい、町の方からも全国大会へ出場の応援を祝して、楽器を寄贈して頂き、地域の方々のお力添えにより、活動が今に至っております。その中で感謝の活動として『ポランティア演奏』を20年以上続けて参りまして、大変喜んで頂いております。県高文祭は1〜36回まで連続出場で優秀賞28回受賞。全国大会は9回出場を果たし、特に北海道大会では『全国優良賞』を授与され、小松魂を発揮しました。伝統ある部として、お箏の種まき、花を咲かせ実を結んで次の世代へとつながって、美しく響いてほしいと願っています。



県代表曲「風の音」演奏 2020.11 小松高祭にて

四国総合保険事務所株式会社



事務所 / 〒790-0913
松山市畑寺1丁目14-32
TEL (089) 932-1890代
FAX (089) 943-6943
携帯 090-8694-2857
E-mail: koichi_mori@cnc-e-catv.ne.jp

取締役 昭和52年卒業 森 浩一



ソフトリンク株式会社

本社 福岡市博多区博多駅前3-7-35 〒812-0011
博多ハイテックビル
TEL: (092) 437-5030 FAX: (092) 437-5031
E-mail: ito@e-softlink.co.jp
URL: http://www.e-softlink.co.jp

代表取締役 昭和45年卒業 伊藤 壽男

株式会社 H&M 一級建築士事務所

〒793-0041 愛媛県西条市神拝甲150-1 SICS インキュベーションNO.4
TEL: 0897-47-5977 FAX: 0897-47-5966 Mobile: 090-7785-2057
E-mail: handm-2013@khf.biglobe.ne.jp Mobile-mail: handm-111@docomo.ne.jp
web site URL: http://www.handm-2013.com

一級建築士 二級土木施工管理技士
一級建築施工管理技士 応急危険度判定士

代表取締役 昭和59年卒業 山本 宏

あの日 あの時

野球部の思い出

昭和44年卒
植 木 淳 二

卒業後早いもので半世紀余りたちます。

最初に思い出するのが二年生の夏の大会です。はじめての松山球場の試合で雰囲気飲まれて上がったしまい大洲高校に自分のエラーでサヨナラ負けをしてチームメイト特に三年生に申し訳なく泣き崩れました。今でも忘れることがないです。

三年生になり兼井部長・曾我監督のもと、三年生四名・二年生六名・一年生二名 総勢十二名でのスタートです。

郡内大会(三校リーグ)小松・丹原・壬生川工の試合で優勝しました。

夏の大会は五十回記念大会でした。一回戦は北条に五対四で逆転勝ち、二回戦は土居に三対七で負けましたが悔いはないです。少人数だったからチームワークは良かったと思います。グラウンドはサッカー部・陸上部と一緒に使っていました。当時は練習中に水は飲めませんでした。たまには隠れて飲んでいたかな？

我々の時代甲子園は夢の夢だったけど近年、甲子園出場・四国大会出場など後輩達が頑張っています。

もう一度甲子園へ連れて行って欲しいです。大きな声で校歌を歌いたいです。

フレージャー小松!!
ガンバレ小松!!

最後に今後とも、養正会員の皆様野球部の応援と御支援よろしくお願いいたします。

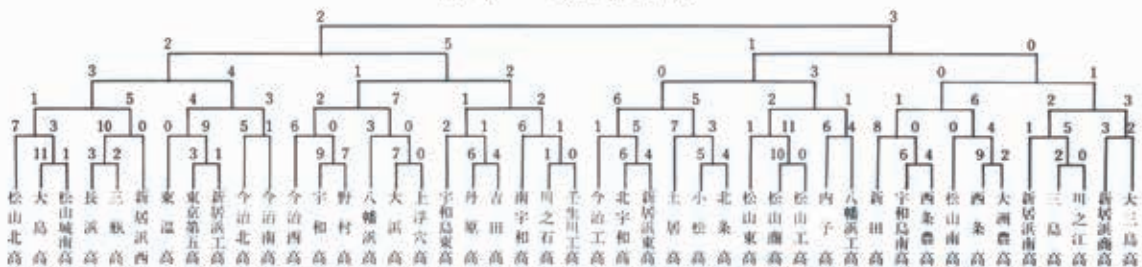


野球応援練習



第50回全国高等学校野球選手権大会愛媛県大会

優勝 松山商業高校



①小松高の植木遊撃手は一回戦の対北条戦で2安打、1四球、1犠飛、1敵失。この日も七回の三塁打と三四死球、1敵失で二試合で10打席中1犠打を除き全打席出塁を記録した。

芸能界「初」入選

本校出身のテノール歌手秋川雅史(53)さんが今年の「二科展」の彫刻部門で入選しました。芸能界で同部門での入賞は初めてのようです。

秋川さんが公募展に出品するのも今回が初めてで「木彫楠公像(楠木正成像)」が入選しました。

秋川さんのコメント・「木彫刻も本気で取り組んでおりまして、二刀流ではございませんが、実はすでにお寺の方にも私の制作した仏像を奉納させていただいております」などとコメントしています。以下、秋川さんにインタビューした内容です。



Q1「入賞おめでとうございます。ご感想は？」

コロナで歌手としての仕事が無くなって、お家時間が増えました。仕事が無くなることは辛いことですが、決してマイナス思考にならないようにということだけは心がけました。そこで趣味の彫刻に打ち込み、その前から製作していた「木彫楠公像」を完成させました。元々はどこに出品するでもなく彫り始めた作品ですが、出来上がってみると思った以上によく出来たので、二科展に応募してみることにしました。半信半疑でしたが、入選の通知を見た時は大学受験に合格した時と同じくらい嬉しかったです。元々は西条のだんじり彫刻に憧れたことから始めた趣味の彫刻ですが、やはり私の人生の中の成功の全てのルーツは西条なんです。43歳から始めた趣味ですが、何を

始めるのも年齢は関係なく、大事なのは情熱なのだと言信しました。

Q2「歌以外の彫刻を始めたきっかけは？」

ドイツに仕事で行った時に鷹の木彫刻の置物を買って帰りました。それを家に飾って眺めていると、「自分でも彫れる！」と思いました。すぐに彫刻刀と材木を買って自己流で始めました。その後さらに上を目指して先生を見つけて本格的に勉強していきました。

Q3「二刀流の今後の抱負を教えてください。」

自分は歌の才能には恵まれたと思いますが、彫刻は才能があるとは思っていません。好きこそ物の上手なれで趣味の一つとして極めていきたいと思っています。でも自分の限界を自分で決めずに、どこまでも成長していきたいと思っています。

母校である小松高校、西条(特に祭り)、愛媛、日本、何より人を大切にす秋川さんの今後の更なるご活躍をお祈りしています。

いつの日か、秋川さんの彫り物のだんじりが、ご本人の祭囃子で練り歩く西条祭りがみられる!?日が来るかもしませんね。



～ 思い出の伊予小松駅 ～

登下校や友達とのお出かけ、待ち合わせ場所になどなど、青春スポットとして利用した「伊予小松駅」の現在をご覧ください。切符を確認してくれる駅員さんや売店などはなく、無人駅として利用客を見守ってくれています。駅前の食堂は「おしゃれなイタリアンレストラン」として県内屈指の人気で老若男女を集めています。駅から南に続く商店街の風景は懐かしいですね。

目に見える風景は時代とともに変化していますが、駅前の空気、雰囲気はきっと皆さんの青春時代のままでしょう。お近くに来られることがあれば、「伊予小松駅」を訪れて、ホームに立ってみませんか？



令和3年度卒業証書授与式は、新型コロナウイルス感染症予防策として、参加者を卒業生及び卒業生の保護者にさせていただきました。式典参加を予定しておられました50年目同窓生の皆様には、大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。なお、卒業式の様子は、本校ホームページで紹介しておりますのでご覧ください。

<https://ehm-komatsu-h.esnet.ed.jp/>

アイデアと経験で
明日の繁栄を築く省力機械メーカー

奥元工業株式会社

〒619-0204
京都府木津川市山城町上狛西明官7番地2
TEL(0774)86-5550 FAX(0774)86-5554

昭和38年卒業 奥元 唯照



リブラ薬局

リブラ薬局(小松店)
〒799-1101 西条市小松町新屋敷甲209-6
TEL 0898-76-3500 FAX 0898-76-3502
リブラ薬局(玉津店)
〒793-0006 西条市下島山甲1237番5
TEL 0897-47-5888 FAX 0897-47-5889

薬剤師 玉井 重行

株式会社 田窪工業所

代表取締役社長 黒田 祐弘

〒799-1392 愛媛県西条市北条962番7
TEL 0898-65-5000(代)
FAX 0898-65-4677

特別な仲間



生徒会長 吉田 颯斗

小松高校に入学してからあつという間に三年が経ちました。私は小松高校で沢山のことを学び、沢山の仲間と出会うことができました。

私は、小学生の頃からサッカーを始め、高等学校でもサッカー部に入部し、数多くの貴重な経験の中で大切なことを学びました。その一つが感謝でした。部活動は、練習から試合まで決して一人でできるわけではありません。周囲の協力無しではサッカーをすることはできません。日々の練習はできて、相手チームの協力が無いと試合もできません。私は、チームを支えてくれてる人や協力・応援してくれている人に気持ち感謝をする大切さを学んだことが大きかったと思います。

学校生活では生徒会長に選ばれ、任務を全うできたことに誇りを持ち、先輩が引き継いでくれたことを嬉しく思います。この養正が丘で特別な仲間と友達に出会えたこと、全校生徒が充実した高校生活を送れるように縁の下の力持ちにされたことに感謝したいです。卒業後も大切な絆を大事にしていきたいと思えます。これから節目の年を中心とさせて頂いて、もう幹事を紹介します。1組 青越 智哉 丹野 香乃 2組 舟山 虎日 神野 葵 3組 日野 隼希 山内 彩帆 4組 寺町 媛乃 中津 那菜

令和3年度3年生進路決定状況 2022/1/14 現在

Table showing enrollment statistics for 2022/1/14. Columns include '決定者' (Decided) and '未定者' (Undecided), with sub-columns for '普通科' (General Course) and 'ライフデザイン科' (Life Design Course). Rows include '大学' (University), '短大' (Junior College), '各種・専修' (Various/Specialized), '就職' (Employment), and '家事その他' (Housework/Other).

Main table listing university and vocational school destinations. Columns include '四年制大学' (4-year university), '短期大学' (Junior college), and '専門学校' (Vocational school). Rows list specific institutions like 愛媛大, 高知県立大, 高知工科大, etc., along with their respective fields of study.

令和四年度 行事予定
入学式 四月 八日(金)
体育大会 九月 六日(火)
小松高祭 十月 二八日(金)
養正会入会式 二月 二七日(月)
卒業証書授与式 三月 一日(水)

令和四年度 養正会総会
本部総会 5月21日(土) 11時~14時
石鎚神社会館
松山支部総会 7月上旬開催に向け準備中です!
関西支部総会 8月6日(土) 12時~15時
ホテルグランヴィア大阪(梅田)
関東支部総会 8月末開催予定
帝国ホテル東京(千代田区)

養正会からのお知らせ
会員の皆様には、養正会活動にご理解ご協力をいただき誠に有難うございます。
養正会に於きましては、本年度も昨年度に引き続き総会が中止となりましたので役員会で次年度の案を作成し決算は監査をしていただき常任理事会での書面決議で、決算・事業報告・予算案・事業計画等の承認をいただきました。
会報につきましても、本年度より会報をすべての会員に配布をさせていただきました。皆様には今まで忘れていた学生時代が思い出していただければ幸いです。また活動協力金をお願いをしておりますが、多くの会員の皆様のご協力により、総額二百一十九万九千円の協力金が集まりました。会報発行の必要経費を差し引き三十三万六千二百七十九円が養正会に入金になりましたが、その内三十万円を特別積立に繰り入れさせていただきます。周年事業・会館補修・そして生徒たちの為に使っていきたいと思っております。
養正会名簿作成につきましては、事業の一環として、小松高校の百五十五周年に合わせて、五年一度の発行を令和四年六月月上旬に、今までは内容を変更し見やすい名簿として発行いたします。是非一度手に取ってご覧ください。
会報につきましても、会員の皆様方が、各地で開催されているクラス会や同期会、親睦会や交流会の投稿を写真添えてお願いいたします。
これらの投稿をお待ちしております。
これからの、養正会が益々良き会になります様に、皆様のご意見やご要望が有れば事務局までお寄せください。

養正会からのお知らせ